

平成23年度 学校評価結果報告書（中間評価）

小松市立御幸中学校

	自己評価				学校関係者評価		
	評価項目と具体的取組	評価指標	達成度判断基準	取組の状況	達成状況	今後の方向（改善計画等）	
① 確かな学力の育成	（授業改善） 学校教育目標に基づいた指導計画が立てられ、授業形態や内容など人的資源を活用し、適切に設定されている。	【満足度指標】 計画的な授業実践がなされ、授業力改善シート活用や、授業時数確保が万全か。 学力調査の結果分析を授業改善につなげているか。	計画・実践・時数に A：満足である B：ほぼ満足である C：やや不足である D：不足である	・学校研究の柱を授業改善に置くとともに、学力調査の分析をもとに、授業改善を図っている。授業力改善週間を年3回実施し、向上に努めている。	B	・授業や、指導法の改善、学校での学習に満足している保護者の割合は約80%と増加している。	・指導法の改善や小中連携の視点をより具体的にしていく。 ・授業力改善週間の時期はより多くの相互参観のできる時期に設定する。 ・指導案検討時に模擬授業を実施することを検討する。 ・夏休み中に校内研修で授業案を作成する。 ・小中の授業交流の機会を多く持ち、また指導力向上のための出前授業を行う。
	（指導計画・指導記録） 校内研修の充実が図られるとともに、各教科での指導計画が適切に作成され実行されているか。教育課程におけるそれぞれの指導記録がしっかりと整備されているか。	【成果指標】 授業参観、模擬授業ができたか。指導記録が整備され、毎月の提出確認、内容の充実が図られているか。	記録・提出が A：できている B：だいたいできている C：あまりできていない D：できていない	・指導計画、記録ともに毎月の確認がきちんとしており、内容も高まっている。	A		
	（指導法の改善） 校内研修の充実を図るとともに、創意工夫に基づき、きめ細かな指導に心がけ、生徒の意欲を高め、基礎学力定着のための工夫をしている。	【満足度指標】 いしかわ学びの指針12か条に基づき校内研修を実施しているか。 打合せを密にし、工夫、改善に取り組み、研修会参加など成果が上がっているか。T.T、少人数教育が機能しているか。	校内研修・打ち合わせ・改善・成果に A：満足である B：ほぼ満足である C：満足とはいえない D：不足である	・いしかわ学びの指針12か条を指導法改善の視点を明確にしたり、小学校との連携をより強めている。	B		
② 豊かな心の育成	（道徳教育） 全体計画と指導計画のもと、道徳の時間の充実に努める。	【満足度指標】 時数が確保されており、年間計画に従って実践しているか。	道徳の時間の充実に A：満足である B：ほぼ満足である C：満足とはいえない D：不足である	・道徳の時間がしっかりと確保され、資料も整備されている。	B	・生徒会活動が活発な様子で評価できる。	・新校舎移転を大きな節目ととらえ、心の成長や良さ校風づくりを目指す。 ・学級集団づくり、学年集団づくりを進め生徒会活動の充実を図る。
	（特別活動） 集団の一員としての自覚を高め、良き校風作りのために、自主的・実践的活動となるように工夫している。	【満足度指標】 年間計画、生徒会テーマが確立され、事前指導もよく、十分な成果を設定しているか。人間関係作りの実践活動も取り入れているか。	計画・事前指導・成果が A：満足である B：ほぼ満足である C：満足とはいえない D：不足である	・生徒会年間テーマ「輝」を掲げ、生徒による自主的に前向きな活動が行われている。	B		
③ 健全な体の育成	（健康教育） 食事、睡眠、運動など、食生活や生活習慣の改善、考慮が十分になされている。	【満足度指標】 自己の健康管理や、成長への自己健康管理がうまくできているか。心の教育への配慮がなされているか。	予防策とその成果として A：常に適切な対応ができた B：ほぼ適切であった C：やや不適切であった D：不適切であった	・日常の保健指導、保健だより、検診時の指導を通して生徒、保護者の啓発に努めている。 ・PTAの協力の下に学校保健委員会を実施した。	B	・学校保健委員会や給食試食会はとても良かった。 ・部活動は大変熱心で、成績も良く、評価できる。	・生徒の意識を高め、保護者の理解と協力をより得るため、PTAとの連携を強めていく。 ・学校保健委員会のテーマを3年間で保健、給食、体育の分野を網羅する。 ・給食時の献立放送など、生徒の活動をより良いものに見直していく。 ・資料をもとに学校での指導の充実を図る。
	（食育推進） 各教科、領域と関連しながら食に関する指導を行う。	【満足度指標】 栄養教諭の活用や、計画を立てて、家庭的な実践への浸透が図られたか。	残菜0、朝食・夕食完全摂取が A：達成できた B：ほぼ達成できた C：やや課題が残った D：大いに課題が残った	・日常の給食指導、栄養教諭による授業、給食だよりなどを通して啓発に努めている。 ・学校給食試食会の実施。	B		
	（部活動の推進） 有効な教育活動として、心身の健康や日々の生活態度の向上、人間的な成長を図る。	【満足度指標】 部活動を通して、心身の健康や生活態度・人間関係の向上が見られたか。	部活動を通しての生徒の成長が A：満足である B：ほぼ満足である C：満足とはいえない D：不足である	・部活動を通して心身の健康だけでなく、礼儀やマナーの指導がしっかりと行われ、礼儀やマナー面での成長が見られる。	A		
④ 生徒指導の充実	（生徒指導） 全教職員の共通理解と相互補完をしながら、適切な配慮、意識をもって指導に当たっている。	【満足度指標】 情報交換、共通理解の場をよく持ち、適切な対応ができて成果があるか。	理解・対応・成果が A：満足である B：ほぼ満足である C：満足とはいえない D：不足である	・基本的な生活態度の指導・交通安全に対する生徒指導の取り組みの実践ができ、生徒の意識も高まり、成果が現れている。	B	・校則についても小中の連携が図られると良いと思う。 ・ヘルメットの着用に対する保護者の意識は高まっているが、まだ時々ヘルメットを着用しないで自転車に乗っている生徒を見かける。	・積極的な生徒指導、集団づくりの実践に励む。 ・生徒指導委員会を週1回、定期的に実施し、現状把握と今後の対策をより具体的に進めていく。 ・生徒会活動の継続的な取り組みも企画内容をより充実させていく。 ・校則の見直しを保護者とも協議しながら進める。
	（生徒会活動） 生徒会テーマ「輝」のもと良き校風作りのために、自主的・実践的活動が積極的かつ継続的に行われている。	【満足度指標】 生徒会テーマのもと、行事や日々の活動において、十分な成果をあげているか。	生徒会の前向きな取り組みが A：できている B：だいたいできている C：あまりできていない D：できていない	・生徒会活動では、継続的な活動と、新たな取り組みを計画的に行うことができた。生徒の自治的活動で前向きな活動をができた。	A		
⑤ 組織的な学校運営	（組織的な学校運営） プロの教育集团としての自覚を持ち、主任機能の強化を図り、各分掌・学年の主体的、積極的な取り組みを推進するとともに、適切な連絡・相談・助言を通して、組織的・機動的な教育集团を確立する。	【満足度指標】 校務委員会を通して方向性が確認され、それに基づき各学年や分掌部会が機能し、提案や建設的意見がよく出され、前向きに取り組んでいるか。	組織的・機動的な運営が A：できている B：だいたいできている C：あまりできていない D：できていない	・週1回の校務委員会が機能し、各分掌が主任を中心に具体的な動きを見せ始めた。	B	・校内の組織的運営や出来事について、学校長より良く理解できる。	・各分掌の部会を定期的に開催し、主任を中心とした組織的運営に心がける。 ・新校舎移転に向けて文書の整理、整頓に努めていく。 ・新校舎移転にともない、防火設備や避難経路の熟知が職員、生徒とも必要であり、綿密な訓練を早急に行う。
	（学校事務） 通達・報告文書や公的諸帳簿および金銭出納簿が適切に処理・保管され、スムーズな新校舎移転ができる。	【成果指標】 遅滞なく処理され、保管も適切で経理も明快であるか。新校舎移転に際し、備品や文書の整理整頓がきちんと行われているか。	文書の処理・保管・経理が A：できている B：だいたいできている C：あまりできていない D：できていない	・文書は適切に処理されている。 ・各担当の管理しているデータの集中管理が必要である。	B		
	（危機管理） 災害訓練が計画され、日々の健康・安全対策が適切に行われ、報告・連絡・相談を十分にこなし、危機管理にに応じた緊急対応体制を確立する。	【成果指標】 避難訓練や安全対策、安全点検、適切な施設・備品の管理が組織的になされているか。	訓練・安全対策・管理が A：できている B：だいたいできている C：あまりできていない D：できていない	・地震、火災に対する避難訓練や、安全点検が適切に行われている。	B		
⑥ 家庭・地域との連携	（参加・協力） 地域に密着した理事会の運営と支援で、保護者との相互理解とPTA行事への積極的な参加をはかる。	【満足度指標】 保護者が積極的に行事に参加する体制、機会を作ることができたか。	保護者の各行事の参加率が A：90%以上 B：80%以上 C：50%以上 D：50%以下	・授業参観や学校公開など、保護者が学校に来る機会を増やしており、参加率も上昇している。	A	・PTA理事や保護者との情報交換が密に行われており、満足していると答えた保護者の割合は大きく向上し、学校の対応は評価できる。	・新校舎移転にあわせ、PTAだけでなく、地域の皆様にも学校を公開し、連携を深めていく。 ・地域と学校の日程調整が難しく、早めの調整が必要である。 ・教育ウィークの期間に学校公開（授業、部活動）と新校舎見学会を開く。
	（情報交換） 携帯メール配信システムによる意思疎通の促進と、委員会活動においても、積極的な活動ができて全体に配慮した情報の共有や活用がなされている。	【満足度指標】 携帯メール配信システムの加入率が増加し、有効なサービスができているか。理事会の運営のあり方が適切で、情報交換、理事会、教職員、保護者の相互の意識が高まったか。	全保護者・公職者との情報交換が A：よくできた B：できた C：やや課題が残った D：大いに課題が残った	・携帯メール配信サービスは保護者の登録がのべ95%を超えている。 ・学校長だよりをはじめとし、各種だよりをこまめに発行し、情報発信に努めている。	A		
	（地域との連携） 学校外部評価による改善、公表をもとに説明責任の明確化を図り、信頼関係づくりを推進する。授業公開や地域の人材活用を促進したり、生徒の地域活動への積極的な参加を増やす。	【努力指標】 町内・地域の行事への参加で町の一員としての参加自覚があったか。地域への貢献、参加を促進できたか。	地域との連携・参加が A：よくできた B：できた C：やや課題が残った D：大いに課題が残った	・地域の行事に吹奏楽部やボランティアの生徒が積極的に参加している。 ・登下校の安全のために地域やPTAが積極的に活動している。	B		